【報道提供資料】

令和６年８月７日　　大阪府茨木市

報道関係者各位

「おにクル」館内にテントを張って泊まろう！「おにクルファミリーキャンプ」を開催

茨木市は、８月 13 日（火）・14 日（水）に、文化・子育て複合施設おにクル（茨木市駅前三丁目９番 45 号）の館内にキャンプサイトを設置して宿泊する「おにクルファミリーキャンプ」を開催します。

これは、同施設のオープン前に実施した市民ワークショップで出た「おにクルに泊まってみたい」という参加者のアイデアを発端に企画したものです。80 人の定員を大きく上回るおよそ 500 人の申込をいただきました。

テント設置イメージ

同施設の定期休館日※を活用して実施する同キャンプでは、調理実習室「クッキングラボことこと」でのカレー作りや、フロアごとの特徴を活かした謎解きゲームなど、おにクルに入る各施設が連携する「おにクル会議」で検討した様々な企画を実施します。

参加者には、屋内あそび場「まちなかの森もっくる」や、絵本との出会いの場「おはなしのいえ」、図書館「おにクルぶっくぱーく」などにテントを設置して一夜を過ごすという不思議な体験をしていただきます。ぜひ、当日の様子について撮影・取材にお越しいただきますようお願いいたします。

※定期休館日：毎月第２、第４月曜日（祝日と重なる場合は翌日）

■開催日時　令和６年８月 13 日（火）午後２時 ～ 14 日（水）午前８時 30 分（予定）

■参加人数　21 組 76 人

■企画一覧（内容・時間は変更する可能性があります）

◎受付後～午後４時 30 分頃
- 謎解き・ぶっくぱーく珈琲
- おはなし会（子育てフリースペースわっくるで絵本の読み聞かせ）
- 自由利用（もっくる、おはなしのいえ、わっくる、ぶっくぱーく）

◎午後４時 30 分～６時 30 分頃
- キャンプカレーづくり・みんなで夕食

◎夕食後
- ゲーム大会（１階きたしんホール）
- 鬼来怪談会（２階おはなしのいえ）
- 映画観賞会（４階ゴウダホール（大ホール））
- 天体観望会（屋上広場）
- セルフ BAR（４階ホワイエ・屋上広場）
- 自由利用（おはなしのいえ、わっくる、ぶっくぱーく）

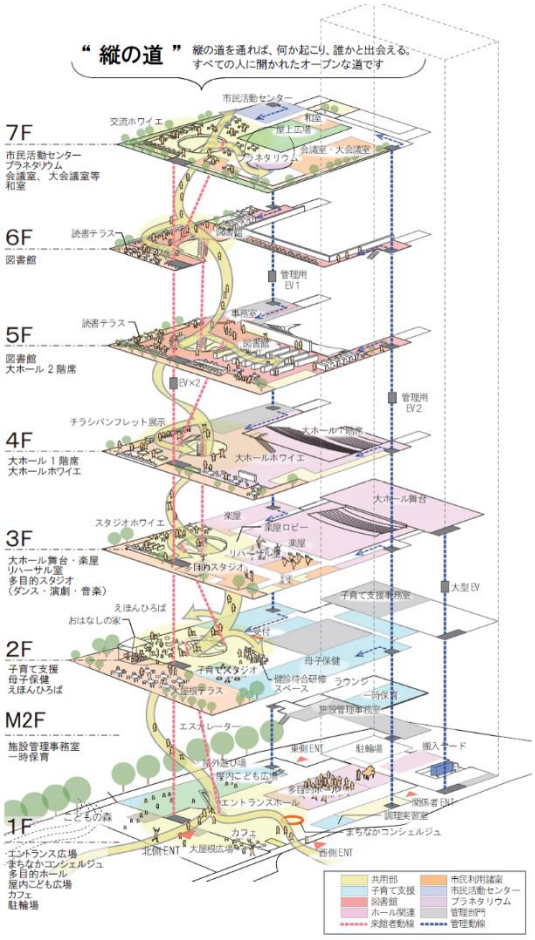
当日取材等をご検討いただける場合には、お手数をおかけいたしますが、事前に下記の問合先までご連絡をいただきますようお願いいたします。

次なる茨木へ。
茨木には、次がある。

【本件に関する問合先】
市民文化部共創推進課　　電話：072-631-0277

【参考】文化・子育て複合施設「おにクル」の概要

おにクル外観



“縦の道”は、回遊するように７層のフロアをつなぎ、人に出会いをもたらします

- 茨木市役所前の市民会館跡地エリアに令和５年 11 月 26 日に開館した新施設・広場。
- ホールや図書館、子育て支援、プラネタリウム、市民活動センター、芝生広場など、様々な機能を備えた複合施設。
- 公募と市民投票を経て決定した名称「おにクル」は、当時６歳の子どもが命名。まちのさまざまな場所で目にする鬼のキャラクター「いばらき童子」を見て、「怖い鬼さんも楽しそうで来たくなっちゃうところ」という意味を込めたといいます。
- 伊東豊雄建築設計事務所が設計を手掛けており、７階建ての各フロアを貫く吹き抜け空間「縦の道」が特徴的な建物。
- 施設の設計コンセプトは、“日々何かが起こり、誰かと出会う”。「縦の道」によってそれぞれの機能が混ざり合い、日々いろんなことがいろんな場所で起きていることが何となく五感で感じられる、誰もが過ごしやすく、訪れたくなる「立体的な公園」のような場をめざしています。
- 平成 27 年 12 月の元市民会館の閉館以降、市民の皆様と対話を通じて導かれた市民会館跡地エリア活用のキーコンセプトは『育てる広場』。市は市民が「使いたくなる場」を提供し、使い方や活動等は市民自身で作り上げていく考え方のもと、様々な取組みを積み上げてきました。
- 開館以降、図書館「おにクルぶっくぱーく」や屋内こども広場「もっくる」を中心に多くの人にご利用いただく中、令和６年４月にはゴウダホール（大ホール）のこけら落としを迎え、５月までにグランドオープンシリーズ８公演を開催するなど、多様な目的で訪れる人で賑わう施設となっています。